

豊田市議会市民フォーラム

「2020年度に向けた政策要望」

に対する回答

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|--|--|---|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 犯罪を発生させないまちづくり</p> <p>【具体的内容】 ①防犯カメラの効果的な活用</p> <p>【取り上げた理由】 ①多発する犯罪に対応するため、移動可能な防犯カメラの貸し出しを拡充するとともに、これまで設置してきた防犯カメラに注意喚起の表示をおこない、見せる化による犯罪抑止効果の向上が必要である。</p> | <p>①</p> <p>・防犯設備整備費補助制度において、引き続き防犯カメラ設置時の表示の設置も支援するとともに、愛知県警察本部が推進するプレートの設置を進めていく。</p> <p>(地域振興部 交通安全防犯課)</p> | <p>・防犯設備整備費補助金(4/5・1/2) (15百万円)</p> |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|--|---|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 災害に強いまちづくり</p> <p>【具体的内容】 ① 確実な避難行動につなげる取組</p> <p>【取り上げた理由】 ① 緊急メールとよたや豊田市公式LINE等にリアルタイム防災情報等をリンク付けし、細分化した情報発信で対象となる地域住民の確実な避難につなげることが必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災ラジオの啓発は、広報とよたや市ホームページへの掲載、自治区回覧による周知、区長会、民生・児童委員協議会への周知依頼に加え、高齢者クラブや障がい者団体等に対して、様々な機会を捉え、実際に防災ラジオを見ていただくような周知を行い普及促進を図る。 ・ 確実な避難行動につなげるために緊急メールとよたで配信する情報を、市公式LINE、フェイスブック、ツイッターなどにも配信し、より適切に避難情報を発令するとともに、災害種別ごとに、危険が予測されるエリアをあらかじめ定め、きめ細かな避難情報の発令を行うとともに、対象者や取るべき行動を明確にした情報伝達を実施する。 ・ 市民自ら情報収集をして避難行動に繋げていただけるよう、マイタイムラインの作成支援など自助啓発に力を入れ、防災意識の醸成を図る。 (地域振興部 防災対策課) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時情報通信設備整備費 (56百万円) ・ 防災設備維持管理費 (1百万円) ・ 防災啓発費 (10百万円) |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|--|---|--|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 災害に強いまちづくり</p> <p>【具体的内容】 ②女性消防士・消防団員の活躍に向けた環境整備</p> <p>【取り上げた理由】 ②消防の体制強化と防火防災活動において、女性消防士・消防団員によるきめ細かな対応や啓発活動などが求められるなか、女性活躍の拡大に向けた施設、運用面の充実が必要である。</p> | <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性消防職員に対しては、4消防署に個室の仮眠室や女性専用のトイレ、洗面所及び浴室を整備している。また、職員採用時には、就職ガイダンス等の機会を捉え、女性消防職員の活動状況について積極的にPRを行うとともに、採用後についてもキャリアアップに向けた育成を行っている。今後も、必要に応じて施設面での整備を行うとともに、女性消防職員の採用、育成に向けた取組を進めていく。 ・近年、女性消防団員数は増加傾向にあり、基本団員として分団に所属するほか、広報指導部に所属して火災予防等の啓発活動や学生機能別団員として消防団のPR活動を行うなど、活躍の場は広がっている。今後も消防団の意向を踏まえ、女性団員が活躍できる環境を整えていく。 <p style="text-align: right;">（消防本部 総務課）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・消防本部運営費 (1百万円) ・消防団運営費 (14百万円) |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|---|---|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 災害に強いまちづくり</p> <p>【具体的内容】 ③耐震貯水槽の計画的な整備</p> <p>【取り上げた理由】 ③発災時の飲料水を確保するため、既存施設の耐震化とともに人口に応じた耐震貯水槽を計画的に配備することにより市民の命を守る取組が必要である。</p> | <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から始まる「(仮)新水道耐震化プラン」に基づき、自然災害により大規模な断水が発生した場合、市民に飲料水を速やかに提供するため、既存の災害拠点給水施設の改修を行うとともに、必要に応じて飲料用循環式耐震性貯水槽を新たに設置していく。 <p>(上下水道局 企画課、水道整備課)</p> | <ul style="list-style-type: none"> 災害拠点給水施設改修基本設計委託 (13百万円) 飲料用循環式耐震性貯水槽設置工事 (16百万円 新規) |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|--|--|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 交通事故死傷者の削減に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ①歩行者保護活動の更なる推進</p> <p>【取り上げた理由】 ①歩行者保護の対策に向け、車両から得られるビッグデータを活用し、交通危険箇所の効果的な対策を促進していく必要がある。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊田市交通安全市民会議では、歩行者の事故防止など様々な交通安全のDVDがあり、貸し出しを行っているため、各地区の区長会においてチラシ等の配布や貸出内容を紹介するなど、自治区等に積極的な活用を伝えていく。 ・DVD活用のほか、（一社）日本自動車連盟（略称JAF）が、ドライブレコーダーに録画されたヒヤリ・ハット映像や事故映像を活用した講演会を開催しており、このような視覚的に訴える啓発を活用し、交通安全意識の向上を図っていく。 ・国・県・県公安委員会と連携し、民間プローブデータやETC2.0データを活用し、交通危険箇所の把握と効果的な交通安全施設整備を引き続き進めていく。 <p style="text-align: right;">（地域振興部 交通安全防犯課）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全市民会議負担金 （15百万円） ・事故防止対策費（162百万円） |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|--|---|--|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 交通事故死傷者の削減に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ②高齢者の安全運転に向けた支援</p> <p>【取り上げた理由】 ②高齢者の安全運転講習の充実を図るとともに、誤操作等による事故を防止する後付け安全運転支援装置の取り付けを補助し、高齢者の安全運転向上に向けた取組が必要である。</p> | <p>②</p> <p>・令和元年12月から令和3年3月までの期間、高齢者の後付け安全運転支援装置設置費補助を実施する。また、シニアのための運転技術講習会を継続して実施することで、高齢者自身の運転の振り返りや安全運転意識向上につなげていく。</p> <p>(地域振興部 交通安全防犯課)</p> | <p>・後付け安全運転支援装置設置費補助金(9/10)(86百万円)</p> <p>・安全教育費(2百万円)</p> |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|---|--|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 交通事故死傷者の削減に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ③自転車の安全利用に向けた取組</p> <p>【取り上げた理由】 ③整備された自転車通行空間の実態調査をおこない、利用環境の向上に向けた対策が必要である。また、自転車利用者が道路交通法を正しく理解して遵守するためには、講習の機会を増やすとともに警察と連携した啓発や取締り強化が必要である。</p> | <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車の安全利用については、児童生徒のみならず、今後は企業に対しても交通安全学習センターの出張講習の活用を呼びかけ、啓発していく。また、出張講習が広く展開できるよう専門的な知識、技能を有する指導員の人材確保にも努めていく。 ・自転車通行空間については、平成30年度に交通安全学習センター内の市街地ゾーンに矢羽根型路面標示を設置したため、同センターの講習に活用し、自転車通行のルール周知を図っていく。 ・警察の協力を得ながら、指導・啓発の実施や伝わりやすい広報物を採用し、着実に浸透するように努めていく。 ・自転車の安全利用に関する条例を制定することで、法令遵守や意識向上を図っていく。 <p style="text-align: right;">（地域振興部 交通安全防犯課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、全ての道路利用者が互いに譲り合って、安全で快適に通行できるよう、継続的に自転車通行空間の通行状況調査を行い、安全性や快適性の向上を図るための追加対策を検討していく。令和元年度は、トヨタ町で自転車の乗入口を設置する追加対策を実施している。 <p style="text-align: right;">（建設部 建設企画課、土木課）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全学習センター費 (198百万円) ・特定道路建設費 (2,433百万円) |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|--|--|---|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 子どもを守る取組</p> <p>【具体的内容】 ① SNSを活用した悩み相談体制の充実</p> <p>【取り上げた理由】 ①子ども達が悩みを相談できるツールの拡充として、これまでの相談窓口に加え、国がおこなっているSNS相談窓口情報を市の相談カードに追記するとともに、本市独自のSNSを活用した相談体制の構築に向け検討する必要がある。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の全児童生徒に配布している「相談窓口カード」に国等が行っているSNS相談窓口情報を追記するなど、児童生徒にとって相談しやすい相談窓口の周知に努めていく。 ・また、国や他市の動向に注視し、引き続き子どもたちが抱える悩みや困りごとに対し相談しやすい環境づくりに努める。 <p style="text-align: center;">（学校教育部 学校教育課、子ども部 次世代育成課）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ不登校問題対策費 （3百万円） ・子どもの権利相談室管理運営費 （2百万円） |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|---|---|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 子どもを守る取組</p> <p>【具体的内容】 ②虐待防止に向けた専門員の増員</p> <p>【取り上げた理由】 ②虐待防止のため、専門知識を有した保健師や育児支援専門員等の職員の増員をおこない、妊娠期から子育て期における親への支援や、直接的な虐待現場への対応などの強化が必要である。</p> | <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増加する児童虐待相談に対応するため、主に児童虐待への対応を行う「子ども家庭総合支援拠点」において、虐待のケースワークを担当する育児支援専門員を2名増員する。 ・また、主に妊娠初期から産後における支援体制を強化するため、妊娠期から子育て期にわたり切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援センター」において、会計年度任用職員を1名増員する。 (子ども部 子ども家庭課) | <ul style="list-style-type: none"> ・人件費（育児支援専門員分） （22百万円） ・人件費 （母子健康手帳交付事務他） （3百万円） |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|--|------------------------------|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 高齢社会への適応</p> <p>【具体的内容】 ①独居高齢者の見守り体制の構築</p> <p>【取り上げた理由】 ①高齢者に対する安否確認システムの導入を図り、地域包括支援センターや民生委員、社会福祉法人などが重層的に高齢者を見守る体制の整備が必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に見守りが必要な高齢者については、民生委員、地域包括支援センターなどが見守りを行っているが、特定疾患（呼吸器系・循環器系）のある方に対しては、緊急通報システムを設置し、急病等に迅速な対応をとる体制を確保するなど、高齢者の安心・安全の確保に努めている。 ・今後、高齢者の急激な増加に伴い、支援を必要とする高齢者が増えていく中で、新たな技術の展開を注視しつつ、より効率的、効果的な見守り体制の構築を図っていく。 ・なお、地域によっては、地域予算提案事業などを活用し、地域で高齢者を見守る組織体制を構築する取組が行われており、これらとも連携し、高齢者の見守り体制の充実を図っていく。 <p style="text-align: right;">（福祉部 高齢福祉課）</p> | <p>・福祉電話設置費 （3百万円）</p> |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|---|------------------------------|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 高齢社会への適応</p> <p>【具体的内容】 ②オンライン診療の拡充</p> <p>【取り上げた理由】 ②在宅医療のニーズの高まりに伴う医師や患者等の負担軽減や、山間地における医療機関の不足に対応するオンライン診療の拡充が必要である。</p> | <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度から豊田加茂医師会及び豊田地域医療センターと連携し実施しているオンライン診療の実証結果や診療報酬の改定の動向を踏まえ、活用可能性等を整理し、医師会等と連携してオンライン診療に関する情報発信をしていく。 <p style="text-align: right;">（福祉部 地域包括ケア企画課）</p> | |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|--|---|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 高齢社会への適応</p> <p>【具体的内容】 ③終活支援のしくみ構築</p> <p>【取り上げた理由】 ③今後、増加する引き取り手のないご遺体の尊厳ある葬儀・納骨、また無縁納骨に係る市の財政負担の軽減を図るため、葬儀事業者と連携した葬儀費用の予納、及び生前意思の管理に係るしくみの構築が必要である。</p> | <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在実施している、戸籍から親族の所在を確認し、ご遺体を可能な限り親族へ引き渡していくといった一連の手続きを引き続き行っていくことで、尊厳のある葬儀・納骨に結び付けるとともに、財政負担の軽減に取り組んでいく。 ・生活保護受給者に対しては、ケースワークの際に、死亡時における対応について可能な限り聞き取り等を行い、適切に対応できるようにしていく。 ・また、ひとり暮らしで頼れる身寄りがない方の尊厳ある葬儀や、葬儀費用の予納制度については、他市の取り組み状況も参考にしつつ、調査研究していく。 <p style="text-align: center;">（福祉部 福祉総合相談課、生活福祉課）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉援護費 福祉総合相談課分 (2百万円) |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|---|--|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 共生社会の推進</p> <p>【具体的内容】 ①コミュニケーションの促進を図る条例の制定</p> <p>【取り上げた理由】 ①手話や点字、音訳などのコミュニケーションは言語であるとの認識のもと、条例の制定を通じて多様なコミュニケーションに対する理解と普及促進を図る必要がある。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいの有無や国籍の違いなど、本人を取り巻く環境にかかわらず誰もが安心して暮らすことができる地域共生社会の実現を目指し、多様なコミュニケーション手段の利用促進を図るため、条例制定に向けた検討を進める。 ・令和元年度に条例素案を作成し、令和2年度に条例制定を目指す。 (福祉部 障がい福祉課、経営戦略部 国際まちづくり推進課) | <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者理解・啓発促進事業費 (1百万円) |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|--|--|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 共生社会の推進</p> <p>【具体的内容】 ②成年後見支援センターの 拡充</p> <p>【取り上げた理由】 ②豊田市成年後見支援セン ターの人材確保・育成、及 び受入れ体制の拡充を図 り、判断能力が不十分な高 齢者・障がい者の権利の擁 護と支援を提供する必要 がある。</p> | <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度のみでなく、権利擁護支援にも関係の深い日常生活自立支 援事業や生活困窮者自立支援事業等を実施している社会福祉協議会へ、 引き続き成年後見支援センターの運営を委託することで、権利擁護支援 の充実に取り組んでいく。 ・また、市民後見人を養成し、活動を支援することにより、新たな後見人 としての受け皿を増やしていく。 <p style="text-align: right;">（福祉部 福祉総合相談課）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度利用支援費 （63百万円） |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|---|--|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 共生社会の推進</p> <p>【具体的内容】 ③市民窓口のバリアフリー対応</p> <p>【取り上げた理由】 ③窓口において、外国人や聴覚障がい者から正確な情報を聞き、伝えるために会話内容の文字化や翻訳など、相手に配慮しわかりやすく伝えることができる窓口対応に向けた取組が必要である。</p> | <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がい者については、職員による筆談対応のほか、障がい福祉課で常駐の手話通訳者を配置し、同課に限らず必要に応じ関係課の手続にも同行するなどして窓口における意思疎通の支援を行っている。 ・増加する外国人来庁者に向け、「やさしい日本語」を活用した窓口対応の職員研修を実施する。 ・日本語でのコミュニケーションが困難な外国人のために、ニーズの多いポルトガル語、スペイン語、英語、中国語の通訳職員を常時配置し対応するとともに、通訳職員勉強会を行い外国人相談者への対応力向上に努めている。また、各課からの依頼に応じ出張通訳や窓口における各種申請書を始めとする案内、通知文などをポルトガル語、スペイン語、英語、中国語へ翻訳し、多言語化を図っている。 ・近年、増加傾向にあるアジア圏の言語対応については、タブレット端末を使用した遠隔通訳サービスを活用し対応している。 <p>更に、令和2年度より、新たに電話による通訳サービスを導入し多言語対応の拡充を図っていく。</p> <p style="text-align: right;">（福祉部 障がい福祉課、経営戦略部 国際まちづくり推進課、 市民部 市民相談課）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置手話通訳者人件費 （5百万円） ・ 多文化共生まちづくり推進費 （1百万円） ・ 市民相談事務費 （13百万円） |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|--|--|
| <p>【安全・安心なまちづくり】</p> <p>【要望内容】 暑さ対策の推進</p> <p>【具体的内容】 ①地域版クールシェアの推進</p> <p>【取り上げた理由】 ①登録されたシェアスポットに加え、集会施設での健康づくりなどを併せたイベント開催や開催支援、またイベントにおける熱中症対策の啓発やグッズ配布を通じた総合的な暑さ対策の推進が必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県が県下全域で取り組むクールシェアに引き続き参加し、シェアスポットの拡大に努めることで、クールシェアの推進を図っていく。 ・シェアスポット以外の公共施設も含め、気候変動への適応策の一環として、関連する部署と連携しながら熱中症対策の啓発を行っていく。 (環境部 環境政策課) ・生涯学習出前講座の中で熱中症対策について学べることを明示し、さらに、身近な施設で行う介護予防教室などの機会をとらえ熱中症対策の啓発を行っていく。 (保健部 地域保健課) | <ul style="list-style-type: none"> ・とよたエコライフセンター費 (6百万円) ・地球温暖化防止対策関連費 (11百万円) |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|--|--|
| <p>【魅力あるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 都市機能を高める道路整備の推進</p> <p>【具体的内容】 ①安全で快適な道路整備への取組</p> <p>【取り上げた理由】 ①現在整備中の上郷スマート IC や国道 301 号線・419 号線などに接続した市道の整備促進、及び生活道路での歩道未整備箇所の安全対策を着実に進める必要がある。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存高速道路を有効に活用するため、現在、東名高速道路の上郷 S A に おいてスマートインターチェンジの整備や関連市道の整備を進めている。 ・また、国道 301 号や国道 419 号に接続する市道については、本線に 併せ、事業者と連携して整備を進めていく。 (建設部 幹線道路推進課、土木課、建設企画課) ・生活道路の歩道未整備箇所については、交通状況を踏まえて、歩行者の 安全確保に向けた検討を進めていく。 (建設部 土木課) | <ul style="list-style-type: none"> ・高規格道路建設促進費 (1, 180 百万円) ・市道改良費 1 (416 百万円) ・市道改良費 2 (524 百万円) ・市道新設費 (424 百万円) ・歩道設置費 (363 百万円) |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|--|--------------------------------|
| <p>【魅力あるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 都市機能を高める道路整備の推進</p> <p>【具体的内容】 ②画像添付による道路維持管理業務の迅速化</p> <p>【取り上げた理由】 ②市民からの情報収集としてホームページ上のお問合せフォームに画像を添付できるシステムを導入し、明確な危険箇所の把握による迅速で確実な維持管理が必要である。</p> | <p>②</p> <p>・市ホームページの共通お問合せフォームに、道路の危険箇所等の画像を添付できる機能を付加する。 (経営戦略部 市政発信課、建設部 道路維持課)</p> | <p>・ホームページ管理運営費 (1百万円)</p> |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|--|---|--|
| <p>【魅力あるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 保育環境の充実</p> <p>【具体的内容】</p> <p>①保育師業務の負担軽減</p> <p>【取り上げた理由】</p> <p>①事務改善の取組が時間外労働時間削減につながっていない。状況の打開には管理業務などを効率化できる保育業務支援システムを早期に導入するとともに、抜本的な業務改善が図られるよう具体的な数値目標を立て事務削減へ取り組むことが必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育業務支援システムの導入に向けて、令和元年度は、機器性能と現場運用のマッチング、ハード面での環境整備、保育師への研修のあり方などについて検証するため、実証実験を実施している。 ・令和2年度は、実証実験の結果を踏まえて、本格導入に向けた課題への対応方法等を整理していく。 ・また、時間外勤務の削減については、これまでも事務削減委員会において取り組んでいるところであるが、具体的な数値目標については、改善項目を取りまとめた上で、必要に応じて設定していく。 <p style="text-align: right;">（子ども部 保育課）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ICT推進費（43百万円） |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|--|---|
| <p>【魅力あるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 外国人児童生徒への教育推進</p> <p>【具体的内容】 ①日本語教育の充実</p> <p>【取り上げた理由】 ①小学校3校にて初期の日本語を教えることばの教室を実施しているが、今後、外国人児童生徒の増加に合わせ、日本語指導員の増員に加えて外国人の定住増加が予想される南部地区等への拡充が必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人児童生徒が増加していく中、学校生活の最初の入口となる「ことばの教室」は、ますます重要な場所となってくるため、引き続き、3校の「ことばの教室」の運営を着実にやっていくとともに、外国人児童生徒の編入状況に応じて、「ことばの教室」の移設や増設について検討していく。 ・また、日本語教育の充実を図るため、研修を充実し教員の力量向上を図るほか、外国人児童生徒サポートセンターが中核となって通訳派遣や翻訳対応による保護者支援、外国人児童生徒教育アドバイザーによる教員への指導助言を進めていく。 <p style="text-align: right;">（学校教育部 学校教育課）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人児童生徒教育推進費 （5百万円） ・人件費 うち、ことばの教室指導員 （57百万円） ・人件費 うち、学校日本語指導員（外国人児童生徒教育アドバイザー含む） （126百万円） |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|--|--|---|
| <p>【魅力あるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 中心市街地の活力とにぎわいの創出</p> <p>【具体的内容】 ①公共空間や空き店舗の有効活用</p> <p>【取り上げた理由】 ①空き店舗の活用を促進するために、有効活用できる空き店舗の物件情報を一元的に公開するとともに、事業者の雇用創出支援と回遊性を向上させる取組が必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に実施した現況調査を元に、空き店舗の所有者と中心市街地に出店したい事業者とを結びつける方策を検討していく。 ・また、市民が公共的空間を自由に使う仕組みである「あそべるとよたプロジェクト」の推進や、（一社）TCCMの活動を支援することにより、まちなかに関わる人を増やし、まちなかの魅力向上につなげていく。 (産業部 商業観光課) | <ul style="list-style-type: none"> ・公共空間活用推進費 (17百万円) ・エリアマネジメント推進人材活用補助金 (10百万円) |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|---|--|
| <p>【魅力あるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 中心市街地の活力とにぎわいの創出</p> <p>【具体的内容】 ②大規模イベントによるにぎわい創出</p> <p>【取り上げた理由】 ②週末の停車場線と公共施設における官民一体の取組として、若者の注目度が高く新しい競技である e スポーツなどの大規模イベントを誘致して、まちなかのにぎわいや魅力創出につなげる必要がある。</p> | <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・e スポーツなどの新たなイベントの誘致については、本市への波及効果等を見極め、効果があると見込まれる場合は、公共施設や矢作川河川敷などを生かし、時機を逸することなく対応していく。 ・令和2年11月の開催が決定した世界ラリー選手権については、国内外から多くの来訪者が見込まれ、ラグビーワールドカップ2019™のおもてなし等の経験を生かし、ラリー車が走行する地域に加え、中心市街地のにぎわい創出につながる取組を実施する。 ・まちなかのにぎわい創出については「中心市街地活性化基本計画」を着実に進めるとともに、都市再生推進法人による駅前のスポーツを生かしたイベント等の道路空間活用に対する支援を行う。また「都心環境計画」にて将来イメージとして提案されている歩行者専用化に向けた実証を進める等、公民連携による取組を進めていく。 <p style="text-align: center;">（経営戦略部 経営戦略課、都市整備部 都市整備課、 産業部 商業観光課）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・世界ラリー選手権開催推進費 （41百万円） ・商業活性化推進交付金 （24百万円） ・公共空間活用推進費（17百万円） ・停車場線歩行者専用化試行費 （13百万円） |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|--|---|
| <p>【魅力あるまちづくり】</p> <p>【要望内容】 公園の魅力創出への取組</p> <p>【具体的内容】 ①民間活力を生かした公園のリノベーション促進</p> <p>【取り上げた理由】 ①鞍ヶ池公園などの都市公園において、民間事業者ならではのノウハウやユニークなアイデアを生かすとともに、市民の声を反映することで魅力のある公園整備への取組が必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鞍ヶ池公園においては、アンケート調査やキャンプ実証により、市民意見を反映するとともに、公募設置管理制度や指定管理者制度などによる民間活力の導入により、公園の魅力向上と維持管理費の低減を進める。 (都市整備部 公園緑地管理課) ・矢作川の水辺空間については、都心及び中央公園と連携したにぎわいの創出も含め、更なる利活用促進に取り組んでいく。 (都市整備部 公園緑地整備課) | <p>【参考事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度3月補正予算（予定） 鞍ヶ池緑地（594百万円） ・矢作川水辺プロジェクト費 (10百万円) |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|--|------------------------------|
| <p>【発展するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 産業の活性化を支える取組</p> <p>【具体的内容】 ①土地の適正な用途地域への変更</p> <p>【取り上げた理由】 ①環境や住民生活への影響に配慮した上で、工場が立地する地域など土地利用の状況に応じた用途地域に変更することにより、事業の拡大や企業進出につなげることが必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の大規模工場や工業団地が立地する地域については、生産活動の継続・拡大を図るため、周辺土地利用の状況に配慮しながら、必要に応じて用途地域の変更等といった土地利用規制の見直しにより、工業地としての機能強化を図る。 <p>（企画政策部 都市計画課、産業部 ものづくり産業振興課）</p> | |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|--|---|
| <p>【発展するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 中小企業における人材育成の支援</p> <p>【具体的内容】 ①とよたイノベーションセンターの活用促進</p> <p>【取り上げた理由】 ①とよたイノベーションセンターへの更なる中小企業の参画につなげるため、ものづくりミライ塾での開発品の展示や現地適所で実活用し、人材育成の成果を発信するなどの取組強化をおこなう必要がある。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成支援については、社会課題などの大きなテーマでアイデア発想から製品開発まで一連の流れを経験することで、ものづくり力を身に付ける「ものづくりミライ塾」事業と、製造技術者の技術力を育成するとよたイノベーションセンターの「製造技術者育成プログラム」を継続するとともに、新たにAI、IoTといった先進技術を活用し、自社の生産性向上を推進できる人材を育成する講座を進めていく。 ・令和元年度に「とよたイノベーションセンター」が中心となり、市内中小企業にとって身近な支援機関である金融機関や税理士、商工会議所等と「中小企業支援ネットワーク会議」を立ち上げ、市やとよたイノベーションセンターの公的支援施策等の情報発信や活用促進に向け連携強化を進めているところである。 ・また、ものづくり創造拠点SENTANにおいて、「SENTANプロダクトの見せる化プロジェクト」を進めており、施設内での展示やFacebook、ホームページでの情報発信を行うとともに、ピッチイベントにて試作品・アイデアの事業化・製品化のマッチングの場を提供していく。 <p style="text-align: right;">（産業部 ものづくり産業振興課）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり創造拠点運営費 （70百万円） ・イノベーションセンター運営費 （37百万円） ・新事業展開支援費 （28百万円） |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|---|---|
| <p>【発展するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 定住促進に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ①業務代行による宅地開発事業の拡大</p> <p>【取り上げた理由】 ①土地区画整理事業においては、豊田四郷駅周辺土地区画整理事業での業務代行による事業期間短縮効果に習い、積極的に民間活力を生かした宅地開発を進めるとともに、今後市街化調整区域の大規模既存集落型区域において基準の見直しをおこない、多様なニーズに合わせたタイムリーな宅地供給が必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規土地区画整理事業については、事業期間短縮効果とともに、事業費削減効果も得られるよう、業務代行方式による民間活力導入の実現に向けた取組を積極的に進めている。 ・なお、若林駅周辺地区では、平成31年3月に、地元発起人会が業務代行方式の前段階である事業化検討パートナーと協定を締結した。 (都市整備部 区画整理支援課) ・「市街化調整区域内地区計画」においては、「都市計画マスタープラン」や「立地適正化計画」における土地利用方針等を踏まえ、メリハリのある市街地形成を目指すとともに、人口増加への対応に向けて更なる宅地供給を推進するため、「市街化調整区域内地区計画運用指針」の見直しを行い、本年4月より運用を開始している。 ・大規模既存集落型については、地域コミュニティを維持していく施策として適正に運用しており、基準等の見直しは考えていない。 (企画政策部 都市計画課) | <ul style="list-style-type: none"> ・若林駅周辺土地区画整理調査費 (36百万円) ・上豊田駅周辺土地区画整理調査費 (40百万円) ・八草土地区画整理調査費 (23百万円) |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|--|--|------------------------------|
| <p>【発展するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 定住促進に向けた取組</p> <p>【具体的内容】 ②雇用創出における中山間地域の定住対策</p> <p>【取り上げた理由】 ②旭地区で運用しているサテライトオフィスの検証により他地域への拡大に向け、参画する事業者へ減税などの優遇措置をおこない、雇用創出につながる取組が必要である。</p> | <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭地区の「つくラッセル」では、テレワークの運用により、旭、稲武地区から4名の人材を採用しており、地域の雇用につながっている。 ・また、令和元年度にサテライトオフィスの可能性調査を実施しているところでもあることから、その調査結果やつくラッセルの取組を踏まえた上で、テレワーク・サテライトオフィスを含めた山村地域における新たな雇用創出の手法を検討していく。 <p style="text-align: center;">（企画政策部 企画課、地域振興部 旭支所、 産業部 ものづくり産業振興課）</p> | |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|---|---|
| <p>【発展するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 ラグビーワールドカップ 2019レガシーの継承</p> <p>【具体的内容】 ①ボランティア活動の組織 体制確立</p> <p>【取り上げた理由】 ①大規模イベントでの検証 結果をもとに、各ボラン ティア団体が連携できる体 制を構築することで、市民 の主体的な活動を広げる ことが必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーワールドカップ2019™大会期間中には、約900名の大会ボランティアと約200名のTRY FOR ALLスタッフ（開催都市独自ボランティア）、約80名のTIA通訳ガイドボランティアが愛知・豊田で活動した。 ・参加者は多くの観戦客等のおもてなしに貢献し、今後のボランティア活動への参加意向も高い。 ・今後は、市民活動センター、男女共同参画センター、社会福祉協議会等が連携して市民活動のすそ野を広げるための事業を進めていく。 ・文化ボランティアについては、とよた市民アートプロジェクトを受け皿とし、文化イベントの企画、運営、サポートする人材を発掘・育成し、活躍の場を提供していく。 ・スポーツボランティアについては、スポーツボランティア事務局の新設やボランティアによる提案型の活動や各種スポーツイベントでの活動参加など、ラグビーワールドカップ2019™終了後も引き続き活躍できる仕組みを検討していく。 <p>（生涯活躍部 市民活躍支援課、文化振興課、スポーツ課）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動促進費 （11百万円） ・市民アートプロジェクト推進費 （13百万円） |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|---|---|
| <p>【発展するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 未来都市の実現に向けた改革の推進</p> <p>【具体的内容】 ① A I などの最先端技術を活用したまちづくり</p> <p>【取り上げた理由】 ①生活全般にわたり最先端技術を実装するスーパーシティ構想を実現させ、便利で豊かな市民生活の実現と基幹産業の発展、また新たな産業クラスターの構築による持続可能なまちへの取組が必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「豊田市つながる社会実証推進協議会」の取組として、会員によるA I、I o T 及びビッグデータを活用した実証事業を通じ、豊田市の地域課題の解決を図っていく。 ・また、国が掲げる「スーパーシティ構想」については、本市の取組をより一層進める観点からも、今後の制度設計の動向に強い関心を持って注視していくほか、昨年度とりまとめられた「未来都市とよたビジョン」の実現に向け、「豊田市つながる社会実証推進協議会」における実証・実装の取組を加速化することで、地域課題解決に向けた取組を促進していく。 <p style="text-align: right;">（企画政策部 未来都市推進課）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・次世代社会システム実証推進費 (15百万円) |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|--|---|
| <p>【発展するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 未来都市の実現に向けた改革の推進</p> <p>【具体的内容】 ②スマート自治体に向けた横断的な業務改革</p> <p>【取り上げた理由】 ②行政においても、AI・ロボティクスが処理できる事務作業への転換を図るスマート自治体への取組を各部署が検討を始めたが、新技術の導入を効率的かつスピードのある業務改革をおこなうには、専門組織を新設し全庁的に進めていくことが必要である。</p> | <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から新たに（仮）情報政策課を設置し推進する。 ・新設部署において、庁内業務への新技術（AI、RPA、IoT等）の活用推進や5G、オープンデータ等の戦略的な活用検討を進めていく。 （総務部 行政改革推進課） | <ul style="list-style-type: none"> ・情報政策推進費 （27百万円 新規） |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|--|------------------------------|
| <p>【発展するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 市民サービスの利便性向上</p> <p>【具体的内容】 ①キャッシュレス決済の導入</p> <p>【取り上げた理由】 ①納税・公共料金等の支払いを、自宅でもできるキャッシュレス決済を導入し、市民の利便性向上を図っていくことが必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から、コンビニ用納付書のバーコードを、スマートフォンで読み取り、決済できるサービスを導入する予定である。 ・この仕組みにより、市税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、こども園保育料の支払いにおいてキャッシュレス決済が可能となる。 <p style="text-align: right;">（総務部 行政改革推進課）</p> | |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|--|---|---|
| <p>【発展するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 SDGs 未来都市の確立</p> <p>【具体的内容】 ①官民一体によるSDGs への取組</p> <p>【取り上げた理由】 ①本市が一体となって取り組んでいくためにも、企業・団体等とベクトルを合わせ連携するとともに、市民の認知度向上に向けあらゆる情報発信ツールやイベントによるPR活動をおこない、浸透・普及啓発を進めていくことが必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊田市におけるSDGs 推進 2大プラットフォームである「豊田市つながる社会実証推進協議会」と「おいでん・さんそんセンター」が、様々な人、地域、企業、技術をつなげて、都市と山村の共存、SDGs 達成に向けた取組を展開していく。 ・また「とよたSDGs パートナー」の登録団体・企業等と連携を図りながら、市民の認知度向上に向けて、各種講座・イベント等を実施し、本市で開催を検討している国際会議の機会を生かし、市内においてSDGs に関する浸透・普及啓発を進めていく。 <p style="text-align: right;">（企画政策部 未来都市推進課）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・未来都市推進事務費 （11百万円 新規） <p>【参考事項】市制70周年事業</p> |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|--|--|--|
| <p>【発展するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 効率的なエネルギーの活用</p> <p>【具体的内容】 ①再生可能エネルギーの地産地消への取組</p> <p>【取り上げた理由】 ①エネルギーの地産地消を目指し、再生可能エネルギーを効率的に利用するため、蓄電池・HEMS・電動車の更なる普及と一体的にコントロールできるエネルギーマネジメントの推進が必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅用太陽光発電で発電した再生可能エネルギーを効率的に利用するため、蓄電池や電動車を活用したV2H機器の更なる普及と、HEMSを活用したエネルギーマネジメントの推進に向け、補助制度の継続と啓発を行っていく。 (環境部 環境政策課) <ul style="list-style-type: none"> 「豊田市つながる社会実証推進協議会」を通じて、渡刈クリーンセンター及び面ノ木風力発電所の再生可能エネルギーを豊田スタジアムなどの公共施設へ供給するエネルギー地産地消の仕組み「SDGsとよた再エネチャレンジ」や、これまで実施してきたVPP（バーチャル・パワー・プラント）などの知見を活かし、一体的にコントロールできるエネルギーマネジメントについて検討していく。 (企画政策部 未来都市推進課) | <ul style="list-style-type: none"> 家庭用燃料電池設置費補助金 (5/100) (6百万円) 次世代自動車普及促進費補助金 (5/100・定額) (42百万円) 家庭用エネルギー管理システム設置費補助金 (1/4) (3百万円) 家庭用蓄電池設置費補助金 (定額) (27百万円) 次世代自動車普及促進費 (1百万円) スマートハウス普及促進費 (1百万円) スマートハウス化設備設置費等補助金 (定額) (23百万円) 住宅用エコ窓設置費等補助金 (5/100) (2百万円) |

豊田市議会市民フォーラム「2020年度に向けた政策要望」への回答

| 要望事項 | 要望事項に対する対応（担当課） | 主な計画事業(令和2年度当初予算) その他参考事項 |
|---|---|------------------------------|
| <p>【発展するまちづくり】</p> <p>【要望内容】 水素社会の推進</p> <p>【具体的内容】</p> <p>①市民生活における水素エネルギー普及に向けた取組</p> <p>【取り上げた理由】</p> <p>①水素社会の実現はインフラ整備の拡大に加え、市民が水素のもたらす効果を実感し、身近に感じることで達成される。そのためには本市が所有するFCVのシェアリングやFCバスのフル活用をおこなうなど、市民が水素エネルギーと関わる機会をより多く提供することが必要である。</p> | <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市においては、水素ステーションが2ヶ所整備されており、令和2年中には、東邦ガスと日本水素ステーションネットワーク合同会社と共同で新たに水素ステーションが建設される予定である。 ・とよたエコフルタウンでは、水素社会の実現に向けてFCV・水素ステーション普及に向けた理解促進のため、来場者に製造工程の見学などを行っており、引き続き実施していく。 ・また、令和元年度に燃料電池バスを4台導入し、路線バスや公用利用として活用しており、今後もイベントへの出展などにより市民が水素エネルギーと関わる機会を多く提供していく。 <p style="text-align: center;">（企画政策部 未来都市推進課、都市整備部 交通政策課）</p> | <p>・次世代バス推進費（21百万円）</p> |